■申請する実務を行った会社が倒産している場合は、以下の 2 点をご確認ください。

●倒産した会社に所属していたことを証明する書類を提出してください。

建築実務を行った会社がすでに倒産している場合、実務経歴証明書と併せて、当該会社に所属していたことを証する書類（源泉徴収票、社会保険加入記録書など）を提出してください。

●実務経歴書に実務を行った会社が倒産したことを記してください。

実務経歴書の 2 枚目（両面印刷の場合は裏面）の下の余白部分に、会社が倒産した旨を記入してください。

実務経歴書　記入例

1 枚目（表面）

第一号の二書式（第一条の五関係）（A４）

実　務　経　歴　書

［記入注意］　この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

私は、一級建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者が当該書類の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和○○年　○○月　○○日

国 土 交 通 大 臣　殿

中央指定登録機関
公益社団法人日本建築士会連合会

氏名　建築　士郎

勤務先等

勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計 年月～年月	年月数
株式会社○○建築設計事務所 ○○部 ○○課	○○県○○市○○町○○丁目○○番地	H28年 4月～ R4年 8月	6年 5月

在職期間 年月～年月	年月数	地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)
R2年12月～R4年7月	1年 8月	技師・主任	建築物の設計に関する実務
R2年8月～R2年11月	0年 4月	技師	建築物の工事監理に関する実務
年 月～ 年 月	年 月		

建築実務の詳細（直近の実務から新しい順に記入）　建築実務経験期間の合計　2 年　0 月

	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間 年月～年月	建築実務の割合	年月数
(1)	○○病院	○○県○○市○○町○○丁目○○番地	R4年 4月～R4年 7月	100 %	0年 4月
(2)	○○小学校	○○県○○市○○町○○丁目○○番地	R2年 12月～R4年 3月	100 %	1年 4月
(3)	S 邸	○○県○○市○○町○○丁目○○番地	R2年 8月～R2年 11月	100 %	0年 4月

実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に　用途・構造・規模・担当業務　等)

(1)〔 1C-02 〕
病院(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積2,500㎡)の基本設計業務において、関係法令のチェックや各種インフラ整理、必要諸室・規模の検討等の設計与条件の整理を担当した。

(2)〔 1C-01 〕
小学校(木造3階建て、延べ面積3,000㎡)の基本・実施設計業務において、基本設計にて平面、立面、断面計画等の作成補助を、実施設計にて一般図(平面、立面、断面)の作成補助を担当した。

(3)〔 2C-01 〕
専用住宅(木造2階建て、延べ面積140㎡)の新築工事において、工事監理補助を担当した。

2 枚目（裏面）

	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間 年月～年月	建築実務の割合	年月数
(4)			年 月～ 年 月	%	年 月
(5)			年 月～ 年 月	%	年 月
(6)			年 月～ 年 月	%	年 月
(7)			年 月～ 年 月	%	年 月
(8)			年 月～ 年 月	%	年 月

実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に　用途・構造・規模・担当業務　等)

〔　　〕

※経由庁(機関)記載欄　※登録機関記載欄

上記の実務を行った株式会社○○建築設計事務所は、平成○年○月に倒産した。

【記入例】

上記の実務を行った株式会社○○建築設計事務所は、平成○年○月に倒産した。

※倒産した日付が不明の場合、日付は記入不要です。